

## 第二回

# 松ヶ浜地区町営住宅 懇談会だより

### 第二回目の入居者懇談会

平成 26 年 7 月 27 日、老人福祉センターで松ヶ浜町営住宅入居者を対象とした第二回懇談会が開催されました。入居予定者 21 名と松ヶ浜地区の区長さん、民生委員さんなど、前回に引き続き多くの方に参加していただきました。



### 保健師さんによる健康チェック！

保健師さんが希望者を中心に血圧を測定し、健康チェックを行いました。その後、参加者全員で、ストレッチ体操と簡単な脱水症状のチェック方法を保健師さんに教わりながら行いました。暑い日が続きますが、こまめに水分をとって健康に気をつけて過ごしたいですね。



保健師さんに、簡単なストレッチ体操を教えていただき、参加者全員で挑戦しました。

手の甲を摘んで、離してから元に戻るのに 3 秒以上かかると、隠れ脱水状態なのだそうです。

### 入居方法についてグループに分かれて話し合い！

その後、みなさんが公平に納得して住戸を決定する方法について話し合いました。特に、住戸や駐車場の希望が他の人と重なってしまった場合の決め方や、住戸を決める際に配慮が必要な世帯について、グループに分かれてそれぞれ意見を出し合いました。



グループごとに別れて意見を出し合います。

1 班、2 班、3 班、それぞれポストイットに意見を書き込んでいきました。

今回もグループの代表の方に、発表して頂きました。

→裏面に続く

## グループでの懇談 公平でみんなが納得できる住戸の決め方って？

公平でみんなが納得して住戸を決める方法について、グループで話し合いました。



1班

- ・まずはどの街区ブロックに入りたいかを大まかに決め、その中で話し合いをする。
- ・話し合いの時は、高齢者や体調の悪い方への配慮が必要。
- ・外出する時間、家にいる時間などライフスタイルに考慮して、住戸・駐車場を決めるのがよい。



2班

- ・自分もいずれ高齢者となり、ずっとここで暮らしていくので、近所との関係・住戸の場所が重要になる。
- ・「〇号室がいい」という希望の取り方ではなく、「角部屋がいい」等住戸の条件で希望をとれるとよい。
- ・身体の不自由さに加えて、生活リズムの違いにも配慮が必要である。



3班

- ・優先すべき世帯の基準について、みんなで話し合って決める。
- ・ペットの苦手な人もいるので、ペットのいる世帯を集めるなどの配慮が必要。
- ・まず街区を決め、希望住戸が重なったらその人たちで再度希望をとるなど、段階にわけるとよいのでは？

### 【全班で共通の意見】

●希望の住戸・駐車場が重なったら、話し合い → 抽選 という流れで決める

●決め方の順序の具体例

- ・街区ブロックごとに希望をとってから、その中で話し合う。
- ・住戸ではなく、住戸の条件で希望をとる

●住戸を決めるときに、優先順位をつけるなど配慮が必要である

- ・高齢者や足が悪い等、身体の不自由な方を優先する。
- ・生活リズムの違いに配慮して、住戸を決める

今回の懇談会で出た意見を参考に、入居住戸の決め方を考えていきたいと思います。実際に住戸が決定するのは入居直前を予定しておりますので、今後もよろしくお願いいたします。

## 第二回懇談会の終わりに…

懇談会の終わりに、松ヶ浜地区の区長さん、東北電力の方からのお知らせがありました。

松ヶ浜地区の区長さんからは8月2日の松ヶ浜地区夏祭りへの案内があり、来年からは同じ地区の住民なので今から仲良くしていきましょう ということで、参加者全員に夏祭りの招待券が配られました。また、東北電力の方からはIH クッキングヒーターについての紹介がありました。

## 第三回 懇談会

**次回懇談会は 9月下旬頃 を予定しています！**  
詳細が決まりましたら、再度ご案内をお送りします。

内容：共用部や共益費について

今後も、入居者同士のコミュニティ作り、安心で健康的な生活作り、共用部のルール作りを目的として、懇談会とワークショップを開催します。次回の懇談会にも是非ご参加ください！